

■ご挨拶：混迷する政局に注視

月日の経つのが誠に早く、今年も早7月中旬となりました。シニアクラブの諸活動も、会員各位のご理解とご協力により、平成24年度の活動計画はほぼ計画通り消化され、新年度に向けた新たな活動計画について論議する時期になりました。

さて、前号のシニアクラブ便りでも指摘しましたが、政治の混乱・混迷状態は治まるどころか、ますます度を増してきているようです。

衆議院での「社会保障と税の一体改革」関連法案の賛否をめぐり、与党民主党内からも反対票を提示するものがあり、政権党としての一枚岩は崩れ去ってしまいました。その結果、小沢一郎元代表を中心として多くの離党者があり、党内融和を第一としか考えていない民主党執行部や現政権では「決められない政治」「決断できない政治」とみなされて、国民からの信頼を全く失ってしまったようです。

二大政党制をめざしてきた日本の政治体制は、民主党が自民党から政権を奪取して、3年も持たずに破綻してしまいました。

この通常国会は9月8日までの延長が決りましたが、重要法案が目白押しで未成立の状態です。特に審議が急がれる国債発行のための「特例公債法案」「一票の格差解消」「議員定数の削減」「デフレの解消と景気回復」「原発再稼働とエネルギー政策」等々重要課題山積の折、政権基盤の弱体化を余儀なくされた野田首相は、政権運営の重大な責任を持つと共に、国民からかなえのけいちょう鼎の軽重を問われております。

会期末が迫る9月上旬から末にかけての、解散総選挙に向けた与野党の攻防、民主・自民の代表選、更に7月11日発足の小沢一郎氏率いる新党「国民の生活が第一」、大阪維新の会や石原新党の動向等あれやこれやが絡み合い、7～9月の政局動向が、今後の日本の政治体制を左右する極めて重要な鍵を握るものとなります。

7月27日から「ロンドンオリンピック」が始まりますが、日本代表選手たちの活躍に多くの国民の関心が集まるものと思います。しかし、この間における政局の動向にも深い関心をもって、注目していかなければなりません。

10月6日（土）開催予定の「第11回定期総会」では、平成25年度の活動について、前述の状況と、直近の現実を踏まえた論議が交わされるよう、会員各位の積極的なご参加とご協力をお願い致します。

■トピックス：「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」

福島原発事故以降、原発に対する世間の厳しい目がひかり、5月に北海道の泊原発が定期検査に入ったのを機に、国内の原発がすべてストップした状態となっていました。「このままだと夏の電力不足が生じる」「火力発電の燃料費がかさみ電力会社の収益が悪化する」等、色々な理由で原発再稼働の必要性が論じられてきましたが、7月1日に福井県の関西電力 大飯原発が再稼働し始めたところです。

一方で、同じこの7月から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が開始されました。これは、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等により発電された電気を、一定期間・固定価格で電力会社が買い取ることを義務付けたものです。これにより、国は再生可能エネルギーの普及促進に弾みをつけたいと考えています。

電力会社が買取りに要した費用は、再生可能エネルギー発電促進賦課金（電気料金の一部）として、電気の使用量に応じて、私たちが負担することになります。

今年度、この賦課金単価（税込）は0.22円/kWhで、一般家庭で月70～100円ほどの負担増となります。節電に努めながら、体には十分注意してこの暑さを凌いでいきましょう。

■支部行事開催報告

① 6/16 寿会との合同ハイキング（茨城支部）

水戸地区では3年前から年に2回のハイキングを寿会と合同で行っています。

6月16日には昨年の大震災で3～6mの津波で大きな被害を受けた大洗に行きメンタイパークや酒造に立ち寄り、参加者12名が若干の散財をして復興へのお手伝いとなりました。

また、このハイキングの楽しみは豪華な昼飯にあります。某会員の献身的努力で焼き肉や焼き鳥の手料理が出され、今回はシシヤモの丸焼きで適度なお酒と共に大好評。小雨の中9キロ歩いた疲れも吹き飛びました。（寿会会員含め12名参加）



月の井酒造前で記念撮影

② 7/4 ちば野菊の里浄水場見学会（千葉支部）

5月に利根川水系の上流で産廃業者がある化学物質を処理しないまま川に流し込み、下流域の埼玉・東京・千葉の浄水場で基準値を超えるホルムアルデヒドが検出されるという事件が発生しました。

千葉県内の一部の浄水場では取水制限が行われ、断水によって関連地域の住民が迷惑を被りました。

同じ利根川水系でも、松戸市にある「ちば野菊の里浄水場」では高度浄水施設を備え、その地域では断水にはなりませんでした。

見学会当日朝、柴又駅から柴又帝釈天、寅さん記念館を見学。午後、川面の涼しい風を受けながら矢切の渡しを経て、浄水場に到着。水道水の作成過程と、どのような経路で各家庭に送られているかを学びました。（千葉支部会員他14名参加）



ちば野菊の里浄水場玄関前にて

■事務局から

スカイツリー見学会には、シニアクラブの行事に今回初めて参加希望された方も含めて、定員をはるかに超える多くのお申込みをいただきました。

ご要望に応えるべく、スカイツリー側と交渉の結果、11月9日の定員を増員できました。8月30日の第1希望に添えなかった方もおられますが、ご容赦ください。

次年度総会を今年10月6日（土）に新子安の勤労会館で予定しています。詳細は9月初旬までにご案内しますが、これを機に初めての皆様も積極的にご参加いただけますよう期待しております。

事務局長 田代 周